

## にちにちこれこうじつ 日日是好日



群馬県立桐生特別支援学校

令和5年 4月24日

校長日より No.1

令和5年度がはじまって二週間が過ぎました。初めは緊張していた子どもたちも新しいクラスや先生方に少しずつ慣れてきたように見えます。私も4月から新しい生活が始まった一人です。桐生特別支援学校に着任し、毎日新しい発見があり、楽しく過ごしています。特に自然環境が素晴らしい。毎朝、小鳥のさえずりがあちらこちらから聞こえてきます。鳥の姿が見えることはないのですが、鳴き声と学校を囲む新緑から豊かな自然を感じます。

40人の児童生徒は、元気いっぱい。着替えを済ませると、掃除やランニングに向かいます。きびきびと活動する子どもたちを頼もしく思います。私は始業式に、本校の目指す児童生徒像に、「頑張りのきく」を加えたいという話をしました。いずれ社会で自立していかねばならないのですから、折り合いをつけて頑張る力は大切です。「明るく、仲良く、頑張りのきく、元気な子」そんな子どもたちでいてほしいと思います。

校内の様子を見ていると、子どもたちは主体的に動き、お互いにコミュニケーションをとろうとしています。挨拶だけでなく、話しかけてくれる子もいます。4月19日は中学部の生徒と登山に行ってきました。急な坂道や階段に一步が踏み出せない子もいます。それでも根気よく先生方が言葉をかけ、きっかけを作り、自分から踏み出せるように支援していました。「少し怖いと思ったけど、やってみたら越えられた。」「友達が自分を待っていてくれた。」小さな挑戦と達成感が登山にはつまっています。私はAコースに混ざって登ったのですが、途中で楽しく歌を唄う生徒がいたり、道ばたの草花や木漏れ日がさしていることを先生に教えたりしている様子を微笑ましく思いました。観音山を登っていると、ハイパーコースの生徒が後ろからやってくるのが見えました。「おーい」と声を掛けあったのもつかの間、どンドン追いあげてきて、山頂直前で追い抜かれてしまいました。さすがハイパーとつけるだけあって、疲れを見せない体力と足取りの軽さに驚きました。翌日、校内を廻っていると、「校長先生も、今度はハイパーコースと一緒に登りませんか。」と生徒から誘いを受けました。あのスピードについていけないかな。私自身が頑張りのきく体力をつけたいといけないなと思いました。

先週末の授業参観、PTA総会では大変お世話になりました。今年度のグランドデザインの目指す教師像に「丁寧感謝」（ていしょうかんかんしゃ）という言葉を入れました。ビジネス書などに出てくる言葉なのですが、人や物に丁寧に接し、相手の良さを賞賛し、感謝を伝える。相手に関心をもつ、もし誤ったらごまかさず心から謝る。そういった姿勢を先生方が示すことで、円滑な人間関係ができ、よりよい教育活動ができると思っています。児童生徒には実践場面で、そうした態度が身につくよう話をしていきたいと思います。

このような形で、児童生徒や先生方、地域の方々との日常を時々、「日日是好日」という校長日よりで紹介していきますので、読んでいただくと幸いです。よろしくお祈りします。（写真はPTA総会の様子）

